

12月号

鳥が丘



横浜市立鳥が丘小学校

「人権週間」と「自分のよさ」

校長 田中さくら

12月4日～10日は、日本だけでなく世界的にも人権週間です。鳥が丘小学校も今週月曜日から人権週間としています。

人権とは「すべての人が幸せになること」「自分が自分らしく生きること」「誰にとっても大切なもの」「毎日の思いやりの心によって守られなければならないもの」「命を大切にすること」「みんなと仲良くすること」人権とは誰かのことじゃない自分事として考えることです。という話をテレビ朝会でしました。

この今月号の学校便りにも結果を載せています横浜市学力学習状況調査の各教科の結果以外に、横浜市生活・学習意識調査があります。その中に「自分にはよいところがあると思いますか。」という設問があります。この設問を集計した結果「自分にはよいところがある」と答えた児童は、「人のためになることをしたいと思いますか。」という設問のポイントが高く、反対に「自分にはよいところがない」と思っている児童は「人のためになることをしたい」ポイントが低いことがわかりました。

学校では、自分がどれだけ大切な存在であるか、自分はかけがえのない存在であるといった自己肯定感や自己有用感もてるような授業や活動を行っています。しかしながら、児童の中には自分に自信がなく、自分のよいところを見つけられない児童もいます。友達と過ごす中で、言葉や態度で相手にいやな思いをさせてしまい、自分はだめな人間だと思ってしまうこともあるかもしれません。でも誰かから認められることによって、自分のよさに気づく児童もいます。優しい言葉をかけてもらうことによって、安心して前向きになれる児童もいます。誰かを支える側に立つ意識をもって毎日を過ごす、よりよい学校、よりよい社会を築くことにつながるのではないのでしょうか。自分を大切にするように、相手も大切にできる自分がこれからの社会を支えていく人になると思います。

今年もあとわずかです。自分自身の行動や言動を振り返り、友達に対する、家族に対する優しさや思いやりを今以上にもてるようになってほしいと思っています。

保護者の皆様、地域の皆様、今年も大変お世話になりました。本校教育活動へのご理解とご協力に心から感謝いたします。皆様、どうぞよいお年をお迎えください。

